

医療法人厚生会（福井厚生病院）

(1) 事業所の概要

下記の項目について、写真などを活用して分かりやすく貴事業所の取組み等について御記載ください

○所在地：福井県福井市下六条町201番地

○創業：病院開設 昭和58年（平成3年 医療法人化）

○代表者名：理事長 林 譲也

○業種：医療・福祉

○従業員数：726名（2020年3月末現在）

○事業内容：医療・健康診断・高齢者福祉・地域福祉事業

(2) 事業所で取り組んでいる健康づくり

【取組みの前提状況】

- 当法人は病院開設以来、「地域に根差した医療機関」を目指してまいりました。そのため地域一体の健康増進に取り組んでおります。
- 現理事長就任以降、全職員に対して「第一に自身の健康、第二に家族との時間、第三に患者さん利用者さん、最後に会社のこと」を大切にしよう!とのメッセージを日々発信しています。
- 法人の掲示板で、理事長名で「健康づくり宣言書」を掲げています。

【取組みの目標】

- 定期健康診断で「要治療」「要精査」判定となった職員への受診勧奨を2017年度から強化。報告率・受診率を5年間で毎年4%ずつ改善させ、2021年度末に報告率91%、受診率78%をめざし、最終的には受診率100%を目指します。

【取組みの内容】

- 目標設定の契機
2017年の労働安全衛生委員会で健康診断後の「要治療」「要精査」判定職員の受診率の低さが議題となり、地域住民の健康管理を担う法人職員こそ高い健康意識が必要との考えから計画を策定しました。
- 目標実現への取組みの説明
医師の不養生ということわざ通り、医療関係者は自分自身の健康管理を疎かにしがちなため、まずは報告書提出について、健康づくり担当者である労働安全衛生委員会の人事課スタッフから該当職員やその上司に何度も促す働きかけにより、職員の健康管理意識の向上を促しています。

【その他の取組み】

- 通勤は各自自由に好きな履物で通勤。施設内は感染予防基準に適応したシューズを支給。（基準適応なら職員個人の持ち込みも可）
- 職員健康診断に週30時間未満のパート労働者も含めて全員実施。
- 協会けんぽと連携し、特に健康保持に努める必要がある従業員に対し保健師による保健指導の機会を提供。
- 全職員対象に、毎月、食事や栄養に関する勉強会を開催。
- クラブ活動への費用補助。
- 乳がん・子宮がん・胃がんの付加検診を法人で費用負担。
- インフルエンザワクチン無料接種、各種ワクチン接種費の補助。
- メンタルヘルスチェック後は法人内外の相談窓口を案内。

【取組みによる成果①】

	要受診精検数/健診数	報告率	受診率
2016年度	172/597名	71.0%	57.6%
2017年度	166/656名	76.9%	66.7%
2018年度	171/691名	89.9%	79.9%
2019年度	159/656名	90.9%	76.9%
2020年度	158/667名	91.2%	79.7%

【取組みによる成果②】

- 2018年度まで15回続いた「第一医師会市民公開講座」が組織改編により終了したため、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきた2020年10月に「健康ふれあいフェア」を新規企画・開催し、地域一体となった健康増進に取り組めました。

当法人医師や管理栄養士等による講演を職員と一般市民対象に開催



健康フェアを一般市民対象に同時開催



(3) 今後の健康づくりの取組み

【今後の目指す姿】

総合的な健康づくりの企画を検討中です。例えば「親子ハイキング企画」といった、心身ともに健康である事が一番求められる「子育て世代による子育て世代のための健康づくり」企画など、新しい健康づくり企画の検討を、法人内の委員会を中心として企画立案してもらうことを考えています。

【重点的に取り組む内容】

ワークライフバランス推進の一環で残業時間の削減に取り組んだ結果、一般職員の残業は現在月平均約3時間未満となりました。新型コロナウイルス感染症蔓延の中でも、できる限り家庭を大切にできるよう、残業時間が増えない取り組みを進めていきます。

【代表者からのメッセージ】

患者さんや介護施設利用者さんの健康を守るお仕事に休みはありません。日々の忙しさに自身の健康や私生活が犠牲になってしまいがちです。自身の健康を維持し、家族との時間を楽しむためにも、職員みなさんが健やかにいられるような機会を会社側から積極的に提供することが大切だと思います。第一に自身の健康、第二に家族との時間、第三に患者さん利用者さん、最後に会社。この順番を大切にしましょう！

医療法人厚生会 理事長 林 譲也